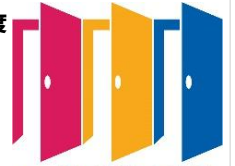




# 2020-2021 年度 藤沢ロータリークラブ週報



2020-2021 年度  
RI テーマ



第 2780 地区 ロータリーは機会の扉を開く  
ガバナー 久保田 英男  
第 3 グループガバナー補佐 市川 洋

■創立 / 昭和 29 年 6 月 3 日  
■第 67 代 会長 / 野口 捷代 幹事 / 小河 静雄  
■事務所 / 藤沢市藤沢 93 新堀ライブ館 204 TEL : 0466-25-4000 FAX : 0466-26-9292 E-mail : info@fujisawa-rotary.com  
■例会日 / 毎週水曜日 12:30~13:30  
■例会場 / 湘南クリスタルホテル TEL : 0466-28-2111

NO. 30 第 3227 例会 2021 年 5 月 19 日 天候 曇り一時雨

ロータリーソング「それこそロータリー」  
「四つのテスト」 会員 川上 彰久 会員

### 《藤沢市みらい創造財団 寄付贈呈式》

野口会長より石井理事長へ学校訪問事業へ寄付  
それに対して、感謝状が贈られました。

### 《ゲスト・ビジターの紹介》

卓話ゲスト：永岡 鉄平 様  
(NPO 法人フェアスタート代表)  
(紹介者：林 尚子 会員)

ゲスト：高宮 春樹 様  
(SMBC 日興証券(株)首都圏営業室・室長)  
(紹介者：林 尚子 会員)

吉原 志麻 様  
(NPO 法人フェアスタート)  
(紹介者：林 尚子 会員)

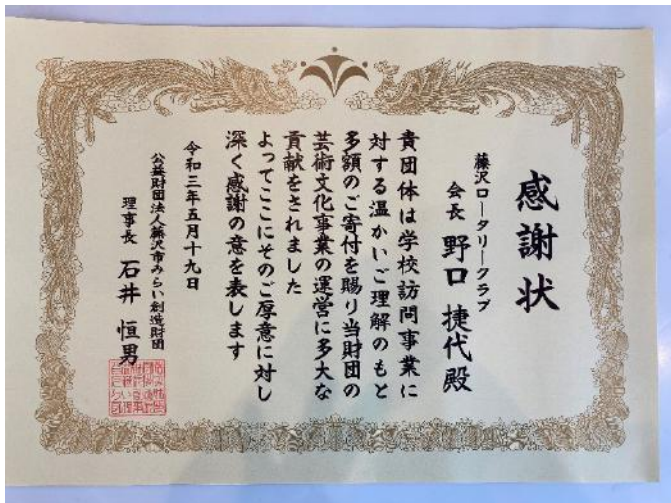
ゲスト：石井 恒男 様  
(藤沢市みらい創造財団 理事長)  
(紹介者：野口 捷代 会長)

金子 昭仁 様  
(藤沢市みらい創造財団 課長補佐)  
(紹介者：野口 捷代 会長)



出席報告 ( )内は計算に用いた会員数  
+[ ]は Zoom 出席者

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メイクアップ 会員数	修正出席者数	修正出席率
4月28日	43(42)名	25名	17名	59. 52%	1名	26名	61. 90%
5月19日	43(42)名	22+[3]名	17名	59. 52%			



《会長報告》

- ・会長幹事会の報告です。中止になったIMですが、有森さんの主催するカンボジアの団体へ第3グループとして寄付をする件、どのようなことに使っていただくか、窓口になっていただく棕梨先生からお話いただきました。

《幹事報告》

- ・5月12日の理事役員会報告
  1. オリンピック競技会場での第3グループ奉仕事業について、会長幹事会で協議され、大会期間中、島内の北緑地公園内で県の施設で、奉仕活動をすることに決定しました。
  2. 次年度の会務分担表の承認 配布されましたので、ご確認ください。
  3. カンボジアへの寄付について、棕梨会員よりコロナ禍で医療奉仕に行くことができません。カンボジアもコロナがまん延しており、子ども達の生活にも影響が出てきております。HOGの有森さんに相談して、どのような支援物資が役に立つかがっています。内容が決定しましたら、お知らせします。
  4. 地区補助金の特別申請について 大小原、地区補助金委員より報告 コロナ禍で、地区の補助金申請が減っており、追加申請の申し込みをすることになりました。クラブからぜひご利用ください。
  5. 1-3月の会計報告が承認されました。



石井理事長より、藤沢市が手掛ける文化事業、市民オペラの学校訪問事業出前講座に寄付が使われることをお話いただきました。

令和3年度 学校訪問事業

一芸術がより身近になるお手伝いをさせていただきます一  
学校の音楽室や体育館で、プロの演奏家の生の音や技術を、ぜひ、体験してください。  
ワクワクした、楽しめてみたい、音楽が楽しくなる時間を過ごせます。

## オペラ体験教室

藤沢市員オペラ審判委員の藤田隆一郎と、市員オペラにゆかりのある日本を代表するオペラ歌手が、劇場に行かなくても体験することの出来ないオペラの世界をご提供いたします。作品の解説と併せて、経験された人達の生の感声を聞くことで、感性を刺激する感動の体験を共有いただける幸いです。

講師：藤田隆一郎（ピアノ）  
小原洋介（テノール）（令和2年度）

講師：藤田隆一郎（ピアノ）  
伊原真（ソプラノ）（令和2年度）

内容：プロの音楽家によるオペラの一部アリアの演奏と、作品の解説を主とする。  
鑑賞料無料（約45分～60分程度、10歳30分以上で参加予定、那桐敬）

講師：国年隆一郎（指揮者）藤沢市員オペラ芸術監督、声楽家（未定）

費用：無料（令和3年度中（2022年3月下旬まで））※主催者負担の会場に開催  
申込受付期間：2022年5月31日（日）まで ※開催予定の会場によって異なります  
※参加費は無料です。お申し込みの際は、お名前、住所、年齢、性別、電話番号、お問い合わせの件名、お問い合わせの旨をお知らせください。お申し込みの受付は、お申し込みの受付期間内です。  
※会場内は安全のためにマスクの着用を推奨いたします。

《お祝い》

会員誕生日 5月21日 杉原 栄子 会員  
5月25日 村石 順 会員





ポール・ハリス・フェロー2回目のご披露のご披露で  
ダブルのお祝い

### 《スマイル報告》

瀧澤 秀俊 会員

結婚記念日のお祝いありがとうございます。  
妻あつての私です。

大小原 徹 会員

雨のせいか、近隣駐車場が満車で、少し遅れてしま  
いました。棕梨さんの3台後ろを走っていたの  
にな。心がけの問題ですね。

杉原 栄子 会員

誕生日祝いをありがとうございます。

村石 順 会員

誕生日お祝いをありがとうございます。

### 《小話 3分間スピーチ》

藤田 浩二 会員



仕事柄、火葬場の話をさせていただきます。神奈川県  
には民間経営を含め、20か所あり、それぞれ火葬場に

はルールがあります。市が運営しておりますので、市  
民が優先されます。藤沢市民が藤沢市の火葬場を使用  
する場合、費用は1万円ですが、市民以外が使用する  
場合は、8万円です。火葬の予約を取らないと葬儀が  
できません。藤沢の場合、6回火葬炉をまわしますの  
で、予約して次の日にお願いできますが、市外者は、  
6回のうちの2回しか予約ができません。お仕事の関  
係上、葬儀の期日が決まってしまうような場合、市外  
の火葬場を探すということもあります。地理的な問題  
も出てきて、市街の火葬場を使用した方がよい場合な  
ども出てきます。あくまでもお亡くなりになった方が  
どこの市民かということです。ご参考になさってくだ  
さい。

### 《卓話》

「児童養護施設の子も達の

可能性を広げるために企業ができること」

株式会社フェアスタート代表取締役

NPO 法人フェアスタート代表理事

永岡 鉄平 様

(紹介者: 林 尚子会員)



フェアスタートでは、児童養護施設の子供たちに対し  
て、キャリア教育とアフターフォローの主に2つの支  
援をしています。現在日本には児童養護施設が約600  
施設、神奈川県内には約30の施設があります。約  
25,000人が児童養護施設でくらしていますが、要保護  
児童数全体は約45,000人を超えても言われていま  
す。藤沢市にもみその台に「聖園子供の家」という児  
童養護施設があります。神奈川県下でも規模の大きい  
施設で現在も定員が約100人の施設です。

施設に入る子ども達の家庭背景としては、昔は、親の  
死亡や行方不明が多かったですが、今は児童虐待によ

る保護が圧倒的に増えてきていて、全体の半数以上を占めるといわれています。児童養護施設の子供たちは、18歳になり、高校を卒業すると施設を出ないといけません。その後は就職するにせよ、進学するにせよ、自立が求められます。虐待が背景にある場合、親が実在するケースがほとんどですが、親との関係性が良くないため、金銭面や精神面で頼れるとはいえないものがあります。結果的に、多くの子ども達は18歳で親を頼ることなく自立することになります。

施設の高校生達は、高校卒業後、約3割が進学し、約7割が就職します。全高校生の進学率が約8割、就職率が約2割という現状と比較すると、進学率、就職率の割合がほぼ逆転しています。ここ数年で、施設の子供達も給付型の奨学金を受けやすくなったため、以前のように進学するなら借金をしなければならないという状況は緩和しました。ただ、学費等は賄えても、日々の生活費（家賃含む）は自分で稼ぎださなければなりません。結果的に、学業とアルバイトの両立に耐えられず、進学者の約3割が中退をしている実情があります。就職者に関しても、特にやりたいことがない高校生は、仕事の内容よりも、住み込みで働ける社宅のある会社、といった条件面優先の就職活動を行うケースが多く、入社後に仕事にやりがいを感じられない、などのミスマッチに発展し早期離職に至りやすい実情があります。中退や早期離職が起きてしまうと、正社員としての就職の難易度が上がり、結果的に多くの施設出身者が貴重な20代を非正規雇用、不安定な収入状況で生活をしている現状があります。いわゆるワーキングプアと呼ばれる状態です。

せっかくの貴重な若い可能性がもたないことになっていて、この課題を解決すべく、就労支援を行っているのが当団体です。そして、これまで約10年の活動の実践から、課題解決に向け大事なポイントが少しずつ分かってきました。

テーマは「未然予防です」高校3年生の進路選択の時に、将来自分はこういった仕事をしてみたい、こんな社会人になりたい、こうした目標を持たた状態で進学や就職ができれば、途中で早期にドロップアウトすることなく、力強い歩みが実現しやすいと考えています。そのために必要なのが、企業のサポートです。中学生や高校生時代に、地域の様々な企業とかかわりを持ち、仕事の見学や体験ができること、見学や体験を通じて各社の経営者や社員の方から励まされること、社会人

として大切な価値観を吸収できること、こうした機会をしっかりと提供できることで、本人達の社会参画の精度が高まると考えています。引き続き、多くの企業とパートナーシップを結び、施設の子供達への就労支援に努めてまいります。

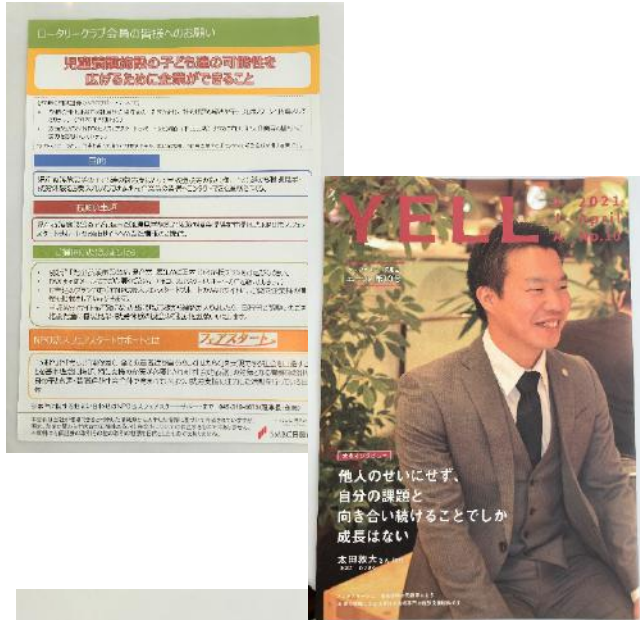


高宮様よりご挨拶 藤沢 RC の会員でいらしたことがあり、懐かしい方にもお会いいただけました



林会員より永岡様のご紹介

野口会長より謝辞



林会員の前任のお1人、高宮様が永岡様をご紹介くださいました。事業所のSDGsの取り組みとして、プロボノワークを国内金融機関として初めて導入なさいました。プロボノワークとは、社員が業務時間の一部をNPO法人の支援に、仕事のスキルや専門知識を無償で提供する社会教育活動です。現在4つのNPO法人をサポートしていて、その一つが、永岡様のNPO法人なのだそうです。



本日は4名の方が、ZOOM出席でした。

資料頂きました。



本日のお料理